

人権キャラバン



～その言葉って言われて嬉しい言葉？～

TちゃんとYちゃんが物の取り合いから、喧嘩をしています。ついカッとなったYちゃんは勢いで、「Tちゃんのこと嫌い！もう遊ばん！」と言ってしまいます。そこにけんこさんがやってきて「その言葉っていい言葉？自分が言われたらどんな気持ちになる？」と聞き返します。次にじんおくんがやってきて、「正直に自分の気持ちを伝えてるからいいことだよ！でももし言われたら嫌だ…」と言います。トラブルになると、本当は思っていないこともつい言うてしまうことが多いと思います。でも自分が言われて嫌な言葉は、友だちも嫌な気持ちになるよね、言う前に自分が言われて嫌な気持ちになるのか、ならないのか心の中で考えられたら素敵だねと確認しました。保育者もその都度友だちとの関わり方を伝えていき、友だちと気持ちの良い関わりが持てるようにしていきたいと思います。

金光 華子

いちょうの森だより



いちょうの森こども園 園だより No.36



令和2年度8月3日 発行
いちょうの森こども園 園だより
桜が丘東3-3-496
TEL 086 (956) 2022
FAX 086 (956) 2023



いちょうの森こども園 HP には、QR コードまたは下記の HP アドレスよりアクセスできます。
<https://ichionomori.okayamakodomokyukai.jp/>

私の気持ち 友だちの気持ち

今年度、誕生会で『人権をこどもと一緒に考える』コーナーを設けています。毎月、誕生会担当者と現在のこどもたちの姿から相談して題材を決めています。どんなことに気づいてほしいか、みんなで確認したいことは何かなどを題材にして、こどもたちに分かりやすいようにチクチクした気持ち（自分のことしか考えていない気持ち）とフワフワした気持ち（自分のことも相手のことも考えている気持ち）と表現して職員が寸劇をしています。

先日、『にじいろのさかな』という絵本を読み聞かせをしていました。私が読んでいる途中、Aさんが「あっちククだ…」と、ポロリ。そのAさんの一言から、登場人物の気持ちや言葉に対して「これはフワフワじゃな」「初めから言わなかったらよかったんよな」「仲良くなれてみんな気持ちがフワフワじゃな。嬉しいな」など、場面ごとにこどもたちが考えてポツリポツリと話し始めました。

その話の内容に、相手の思いやどうしたらよかったのか、など考えられることができていると感じ、毎月の投げかけが少しずつでもこどもたちに浸透していることを嬉しく思いました。

今年度ほし組では、“自分も大切 友だちも大切”ということを基盤にして保育を行っています。生活やあそびの中で、友だちとぶつかりあい避けるばかりではなく、その時に自分の気持ちを友だちに伝えたり大切にしたりしながら、相手の気持ちに気づいたり認め合ったりしていけたらと思います。また、こども自身が自分の良さを感じたり、友だちの良さを知ったりして育ち合っていけたらいいなと思います。

土屋 しのぶ

8月



21日 避難訓練
28日 誕生会

9月



1日 1号始業式
4日 避難訓練
8日 そらテイキャンプ
25日 誕生会

七夕

七夕会をしました。「七夕ってなんだろう？」から始まり、七夕の由来、短冊の意味など「七夕」についてクイズやペープサートを交えたりしながら分かりやすく伝えました。また、「願い事が叶いますように…」と天に向かってお願いしながら笹を囃しました。さあ、みんなの願いは天に届いたかな…？



願い事インタビュー

誕生会で、短冊にどんな願い事を書いたのか聞いてみました！

- ・ドーナツがたくさん食べれますように…
- ・病院の先生とラーメン屋さんになりたい！
- ・キラメイジャーになれますように…

などでした。



夏の思い出の1ページ

梅雨に入って稲の背丈がぐんぐんと伸びてきて「もうこんなにおおきくなった」「ぼくとどっちがおおきかな？」と比べっこしてみました。初めての稲作りで、種もみの時から成長を見てきましたが、1センチにも満たないような芽が目前でどんどん成長する姿を、こどもたちも保育者も愛おしく感じています。「はやくおこめができないかな？」と水やりを精を出す毎日です。



そらぐみ



ほしぐみ



天気がいい日は、色水あそびを楽しんでいます。色水あそびを始めた頃は、「赤」「青」などの単色で遊んでいたこどもたちでしたが、あそびをくり返す中で、「赤と青を混ぜたら紫になった！」と発見をしたり、「黄色と赤を混ぜたら何色が作れる？」と自分なりに試して遊び、今では、自分だけのオリジナルの色を作ったり、新しい色を生み出して、楽しんでいるこどもたちです。

色水遊びをする中で感じる、色の不思議・おもしろさを共有し、夏にしかできないあそびを、思いっきり楽しんでいきたいと思っています。

にしぐみ



砂場を掘って泥温泉を作りました。スコップを持ってえっさほいさ。「まだまだ」「もっとたくさん掘らんと」とみんなで協力して作りました。完成した温泉に水を入れ、泥温泉の出来上がり。冷たい水が気持ちよく足を入れてみたり、腰まで浸かってみたり…自分の楽しみ方で泥温泉を満喫していました。夏ならではのあそびを大人もこどもも思い切り楽しみながら、素敵な夏にしていけたらと思います。

テラスで水遊びをしていて、濡れた手でテラスを触ると、模様が付くことを発見しました。でも、何度も手を付けたり、足ふみをしていると、だんだんと手形・足形が付かなくなり、「あれ〜？」と不思議そうに保育者を見つめます。発見したこと、不思議に思ったことなど、身近な大人と一緒に体験し、共感することで心の成長にも繋がってほしいと思います。

ゆきぐみ



はなぐみ



マリーゴールドやアサガオの花を使って色水あそびをしました。色水にする前に花を見せると触ってこれは何だろうと確かめていました。袋に入れてモミモミすると色が変わりました。モミモミするのに夢中になって2重にしていた袋が破れてしまいましたが、しっかりあそび込めて良かったと思います。梅雨が明けたら夏ならではのあそびを楽しみたいです。

しゃぼん玉を作るためにうちわの骨と輪っかを用意しました。うちわに液をつけてあおぐと小さなシャボン玉がたくさん。「いっぱい作れたよ」と嬉しそうです。輪っかを使って大きなしゃぼん玉作りに挑戦した子は、苦戦しながらもそーっとそーっと輪っかを動かしていました。大きなしゃぼん玉ができそうになると「わあ〜」と目を輝かせたり、パチンと割れて「あーおいしい！」と残念がったりする姿を見ながら、「夏だな〜」と見守る保育者でした。残りの夏もたくさん楽しいあそびを取り入れ、ダイナミックに遊んでいきたいです。

つきぐみ



夏野菜、たくさんできたよ!

春に種から植えた夏野菜がどんどん大きくなり、収穫の時期を迎えました。

実が大きくなってくると、こどもたちの注目度が高くなってくると、感じ取れるほど畑の近くにいることが多くなっていました。

いよいよ収穫！うれしくて自然と笑みがこぼれていました。いろんな味付けで食べるのが楽しみです。

